



早朝の暗いうちから大漁を願い網起こしの準備をする漁師たち（太田名部漁港）

地域資源を自ら活かし 自立する村づくり 未来に向けて新たな挑戦

普代村長 深 渡 宏

謹んで村民の皆さまに、新春のあいさつを申し上げます。

二十一世紀の未来は、北緯四〇度東端の黒崎灯台から望む世界に開かれた海よりいずる輝かしい初日のように、前途洋々たるものと期待しております。

国内経済の低迷、雇用情勢の悪化、そして国が進める聖域なき構造改革などにより、先行きへの不透明感が充満し、それが大きな波となって全国の地方自治体に襲い掛かっております。

未来に向け限らない夢を求

めて新世紀の新たな航海に船出したふだい丸が、この苦難な状況を乗り越え、更なる発展を遂げていくためには、漫然と波に身を任せ漂っているのではなく、船首を荒波に向けてチャレンジし、前進することが必要であります。

今後、皆さまたともに地域資源を自ら活かし、自立する村づくりに心新たな挑戦をし、新普代村総合発展計画の基本施策とする教育文化の充実、産業の振興、生活環境基盤の整備、行財政改革の推進のため、後継者対策やふるさ

と志向の促進、人材育成、雇用の場の確保など山積する諸課題に果敢に取り組んでまいりる決意であります。

小さな村ですが、村民の皆さまの協力を得ながら、特色ある地域振興に取り組みたいと考えております。

村の発展のために一層のご指導、ご協力をくださいますようお願い致します。

最後になりましたが、村民の皆さまの限りないご発展とご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げ、新年に当たってのあいさつと致します。